

鎌倉養護学校校歌

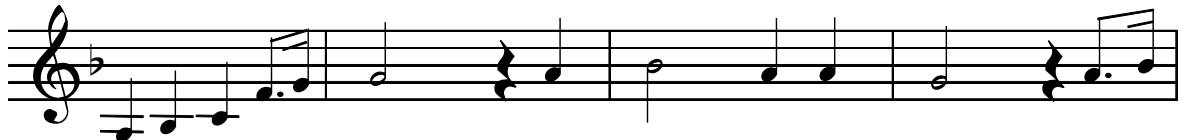
作詞作曲 梅野 千加
詩 補作 中村 千栄子
編 曲 大野 てる穂



みどーりゆたかーにもえあがーるせき
はるーかなのぞーみそのむねーにまこ



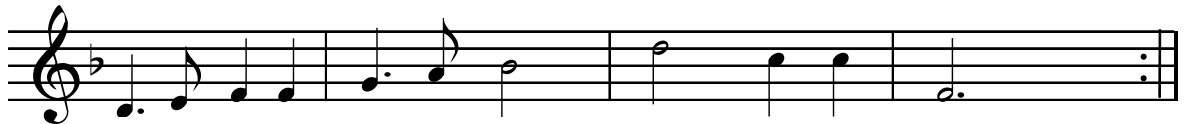
やのさとのわーか くさはここ
とのみちをいーく なかま ちい



ろとからーだ すこ やかにとも
さなあゆーみ たく ましく あす



にてをとり のびようよ (1,2)わ
をみつめて すすもうよ



れらのかまくら ようごがっこう

1

緑豊かに 萌えあがる
関谷の郷の 若草は
心と体 すこやかに
ともに手を取り 伸びようよ
われらの鎌倉養護学校

2

はるかな望み その胸に
誠の道を 行く仲間
小さな歩み たくましく
明日(あす)を見つめて 進もうよ
われらの鎌倉養護学校



シンボルマークのデザイン構成について

このシンボルマークの中心は未来に羽ばたく子供であります。大きく手を広げて空を見上げた子供は、生命に内在する偉大な可能性を顕わしたものです。そしてこの子供の両サイドの空間の形態が双葉になっております。これは子供を温かく愛情こめて育む教育者を表し、子供の姿が養護学校のイニシャルYになっていることと重層して、養護学校の使命を象徴したものであります。中心の円形は太陽であり、また子供の頭であります。健康に、すこやかに自然のリズムによって成長していく生命の存在を表したものであります。なお、このシンボルマークは12ヶの円形パターンの集合によって成り立っています。これは多くの人々の愛と勇気と献身によって、鎌倉養護学校の生徒が自己の創造的生命を開花していく力強い姿をシンボライズしたものであります。